

# 野菜の機械化一貫体系の導入例

## 《キャベツ（加工・業務用）》

機械化一貫体系の導入により、従来の作業体系と比べて労働時間を大幅に削減（103時間/10a→43時間/10a※）できます。

### 苗作り

- トレイの連続供給、養土充填、かん水、鎮圧穴あけ、は種、覆土、かん水等の一連作業を自動で高能率に施行



全自動は種機

### 植え付け・栽培管理

- 耕耘（耕うん）と施肥の同時施行
- ハウスで育苗した苗を、全自動移植機で定植
- ブームスプレーヤーを使用し、効率的に農薬散布



畝立同時施肥機

全自動移植機

ブームスプレーヤー

### 収穫・出荷

- 大型の収穫機により一斉収穫
- 収穫したキャベツは収穫機上で選別し、そのまま大型コンテナに收容



キャベツ収穫機

大型コンテナ

※ 野菜流通カット協議会「加工・業務用キャベツの生産・流通一貫体系のための機械化体系マニュアル（平成27年度）」、農林水産省「平成30年営農類型別経営統計」

## 《ブロッコリー》

主に加工・業務用にむけては、機械化一貫体系の導入及び混み玉出荷により、総労働時間の6～7割を占める収穫・調製・出荷作業の省力化を図ることができます。

### 苗作り～栽培管理

- ※ 全自動は種機、畝立同時施肥機、全自動移植機、ブームスプレーヤー等、キャベツと同様の機械で施行

### 収穫

- 収穫機により、大小にかかわらず一斉収穫



適切なサイズのみ手作業で選択収穫



ブロッコリー収穫機で一斉収穫

### 調製・出荷

- 加工・業務用の場合、茎や葉の長さを一定に切りそろえる調製が不要

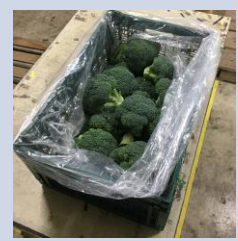


左：青果用規格  
右：加工用規格  
（クラウンカット）

- サイズごとの選別・箱詰めはせず、大小込みの重量出荷



青果用



加工用